

令和 8 年度

「運営に関する計画」



大阪市立新巽中学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

本校の現状

- (1) 基本的な生活習慣を確立し、規律ある学校生活が過ごせる「自律力」を身につけさせる教育実践を推進しており、全教職員が協力して不登校防止や、いじめ・暴力行為の未然防止、早期発見につとめるなど、組織的に取り組む生活指導体制を作っている。
また、空き教室を利用して不登校支援ルーム (SSR) を開設し、教室に入りにくい等の生徒に対しても学習機会の保障をすべく取り組んでいる。SNSに絡むトラブルも多く発生するなど、問題事象の解決や解消に要する時間が多く、家庭 (保護者) の協力不可欠である。
- (2) 学習面においては落ち着いて授業を受ける体制ができています。「わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業」をめざし、ICT機器を活用した授業の工夫・改善に取り組んでいく。基礎学力の不足、学習意欲の欠如、家庭学習の習慣のなさなど克服すべき課題は多い。
大阪府チャレンジテストの結果においても、学年ごとに傾向は異なるが、平均正答率が大阪府平均に近づいてきているとは言い難い現状である。
- (3) 「総合的な学習の時間」では、学年ごとに1年間、あるいは3年間を見通したプロジェクト学習に取り組み、非認知能力を高め、本校の教育目標にも掲げる『豊かな心の育成』『人とのかかわり方』『社会を生き抜くための力』『社会に貢献する態度』等を養うとともに、積極的に学習に取り組む姿勢を育めるようにしている。
- (4) 各教科や特活、総合等、様々な教育活動の中で、個人、ペアまたはグループで意見をまとめ、プレゼンテーションなどの発表活動を意識的に取り入れ、生徒の言語能力や表現能力の育成と、「主体的、対話的で深い学び」の実践を心掛けている。

本校の課題

- (1) 生徒の生活態度が比較的落ち着いてきているにもかかわらず、不登校生徒が多いのは、本校の特徴といえる。不登校の原因としてコミュニケーションをうまく図れない、怠惰によるものなどさまざまである。SNSに絡むトラブルも多く発生するなど、スマホの管理を含め、健全な生活習慣の確立には保護者の協力が不可欠である。
- (2) 本校には外国籍や外国にルーツを持つ生徒も多数在籍している。人種や国籍、性別等をはじめ、あらゆる違いを理解し認め合える、人権尊重を基盤とした教育を行っていく。
- (3) 学力の向上は大きな課題である。小学校の時点での躓き等をいかに克服していくかが課題である。各教科においても基礎基本的な知識の定着を図りながら応用力を養う必要がある。
- (4) 課題探求やグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど、生徒の能動的な学習を取り込んだ授業を推進することで、自ら課題を見つけ、それを解決する能動的な学びを進めている。自分で何かを生み出す力や自らの考えを表現する力をはぐくむ教育をさらに進めていく。
- (5) 教職員の長時間勤務の解消のため、教職員と協議しながら見直しを図っていき、業務の効率化を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ①令和 11 年度の校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 87.0%以上にする。(R7 80.2%)
- ②令和 11 年度の校内調査において、「自分には良いところがありますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 88.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①令和 11 年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を、国語・数学ともに 1.00 以上にする。
- ②令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を、男女ともに 1.01 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ①令和 11 年度の校内調査において、「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80.0%以上にする。
- ②令和 11 年度における教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 30 時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ①年度末の校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82.0%以上にする。(R7 80.2%)
- ②年度末の校内調査において、「自分には良いところがありますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80.0%以上にする。
- ③年度末の校内調査において、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」の項目に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を 85.0%以上にする。

学校園の年度目標

- ①年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合を 76.0%以上にする。(R7 74.6%)
- ②年度末の校内調査において、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70.0%以上にする。(R7 類似項目で 75.0%)
- ③年度末の校内調査において、「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 78.0%以上にする。(R7 77.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ①年度末の校内調査において、「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」の項目に対し、肯定的に回答する生徒の割合を 77.0%以上にする。(R7 75.5%)
- ②中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
(50 期生 国語 101%、数学 92%) (51 期生 国語 88%、数学 75%)
- ③年度末の校内調査において、「運動（体を動かす遊びも含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75.0%以上にする。(R7 73.6%)

学校園の年度目標

- ①年度末の校内調査において、「授業は分かりやすく楽しい」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75.0%以上にする。(R7 73.5%)
- ②年度末の校内調査において、「自分の努力したことや、頑張ったことを認めてくれる先生が多い」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 78.0%以上にする。
(R7 77.2%)
- ③年度末の校内調査において、「規則正しい生活（「朝食を食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 77.0%以上にする。
(R7 朝食 76.1%、規則正しい生活 74.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ①年度末の校内調査において、「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75.0%以上にする。
- ②年度末の校内調査において、「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 60.0%以上にする。
- ③教員の時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。

学校園の年度目標

- ①年度末の校内調査において、「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75.0%以上にする。
- ②年度末の保護者アンケートにおいて、「学校は生徒や学校の様子をホームページや学校だより等でよく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 88.0%以上にする。(R7 87.3%)
- ③年度末の校内調査において、「学校の図書室を利用している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 55.0%以上にする。(R7 52.3%)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>①年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合を 76.0%以上にする。 (R7 74.6%)</p> <p>②年度末の校内調査において、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70.0%以上にする。(R7 類似項目で 75.0%)</p> <p>③年度末の校内調査において、「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 78.0%以上にする。(R7 77.4%)</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>①年度末の校内調査において、「授業は分かりやすく楽しい」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75.0%以上にする。(R7 73.5%)</p> <p>②年度末の校内調査において、「自分の努力したことや、頑張ったことを認めてくれる先生が多い」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 78.0%以上にする。 (R7 77.2%)</p> <p>③年度末の校内調査において、「規則正しい生活（「朝食を食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること）」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 77.0%以上にする。 (R7 朝食 76.1%、規則正しい生活 74.5%)</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>①年度末の校内調査において、「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75.0%以上にする。</p> <p>②年度末の保護者アンケートにおいて、「学校は生徒や学校の様子をホームページや学校だより等でよく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 88.0%以上にする。(R7 87.3%)</p> <p>③年度末の校内調査において、「学校の図書室を利用している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 55.0%以上にする。(R7 52.3%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1-1 いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上の教育相談・カウンセリング活動および毎週金曜日に「一週間の振り返り」を実施し、未然防止、早期発見・早期対応に努める。 ・「いじめ（いのち）について考える日」を軸に、生徒会主催の全校的な取り組みを実施する。 ・ポジティブ行動支援（＝PBS）マトリクスを実践する。 	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合を76.0%以上にする。（R7 74.6%）</p> <p>②年度末の校内調査において、PBS行動マトリクスを6項目以上挙げられる生徒の割合を50.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1-2 不登校への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の改善に向けて、SSWやSC、教育支援センター等、関係諸機関との連携強化を図る。 	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1-6 安全教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ安全教室等を実施し、情報リテラシーを高める。 	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を50.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2-2 キャリア教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見つめた進路学習を充実させるため、職業講話や職場体験学習等を実施して、社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てる。 	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「キャリア教育を通じて、自分の将来について考えることができた」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2-3 人権を尊重する教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQ+等、「性」に関する講話を実施する。 ・障がい者理解教育等、インクルーシブ教育に関する講話等を実施する。 ・国際クラブ活動の充実させ、多文化共生教育を推進する。 	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか」の項目に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を85.0%以上にする。</p>	

<p>取組内容⑥【基本的な方向4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>・課題研究やグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等、生徒の能動的な学習を取り込んだ授業を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の項目に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を66.0%以上にする。 (R7 64.3%)</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <p>・運動に興味・関心を持ち、生涯にわたり運動やスポーツに親しむ姿勢を養う。</p>	
<p>指標</p> <p>①全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「立ち幅とび」の項目において、男女ともに全国平均を上回る。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向5-2 健康教育・食育の推進】</p> <p>・健康に関する指導を推進するとともに、手洗いの励行などの日常指導を実施し感染症予防に努める。</p>	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「規則正しい生活（「朝食を食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること）」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を77.0%以上にする。 (R7 朝食76.1%、規則正しい生活74.5%)</p> <p>②年度末の校内調査において、「手洗い・うがいをして健康に心がけている」の項目に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を85.0%以上にする。(R7 83.7%)</p>	
<p>取組内容⑨【基本的な方向6-1 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>・ICT機器を利用した探究学習、プレゼンテーション等の学習発表を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>①年度末の校内調査において、「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑩【基本的な方向7-1 働き方改革の推進】</p> <p>・教員の時間外勤務時間を削減する。</p>	
<p>指標</p> <p>①教員の時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p> </p>	